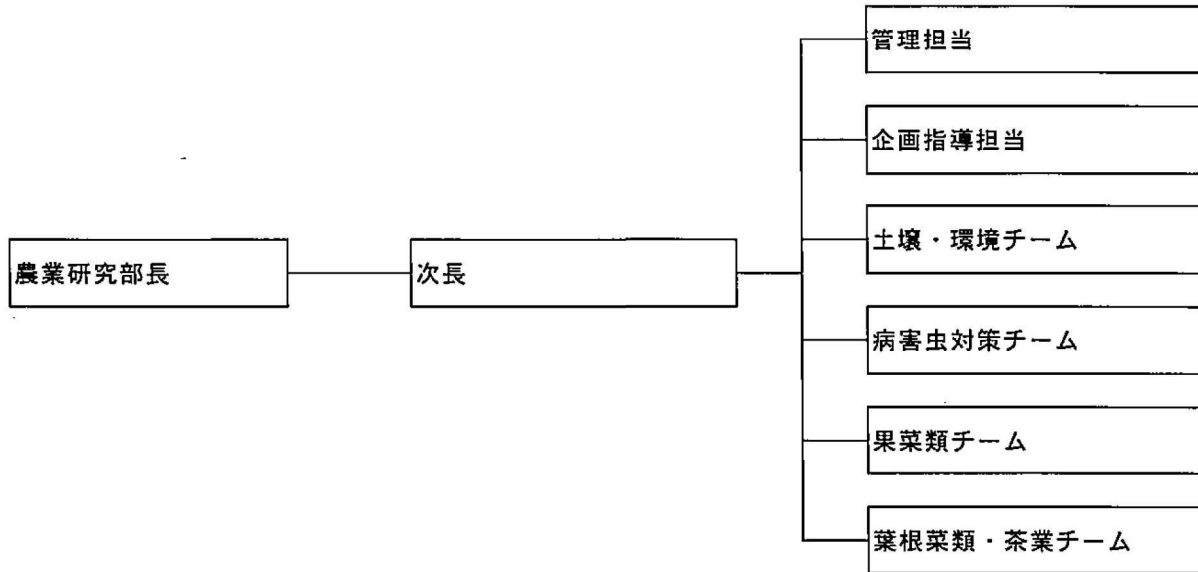


II 各研究部・グループの概要

II-1 農業研究部

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

平成30年4月1日現在

組織	職種	職員					計	備考
		事務	技術	技師	労務技師	業務技師		
部長	長		1				1	
次長	長	1					1	兼センター管理調整監
管理担当	担当	5					5	
企画指導担当	担当		6				6	広域普及指導員3名
土壌・環境チーム	チーム		7		1		8	
病害虫対策チーム	チーム		9			1	10	
果菜類チーム	チーム		9	3			12	
葉根菜類・茶業チーム	チーム		6		1	1	8	
計		6	38	3	2	2	0	51

(3) 業務

主な業務

大分県農林水産試験研究基本指針に基づき、「The・おおいた」ブランドを確立するための産地づくりを技術面から支援する。研究課題の設定にあたり、県が推進する園芸戦略品目を中心に生産者や消費者・実需者のニーズを反映し生産現場に直結する栽培法や新品種を開発・改良・実証する。地域未利用資源の新たな活用方法や品質、収量の向上に加えて、省力化技術など課題を解決するための研究を行う。

企画指導担当

- ①生産者に対する研修および現地指導
- ②試験研究の企画調整、進行管理
- ③研究成果のとりまとめ、研究員の育成

土壌・環境チーム

- ①農産物の安全安心に関する研究
- ②環境に優しい農業生産技術
- ③未利用資源の農業活用技術に関すること
- ④農産物の栄養・機能性成分の調査、分析に関すること
- ⑤肥料取締り分析と農業試験検査事務に係る分析

病害虫対策チーム

- ①安全性に配慮した農産物の生産技術の組み立て
- ②化学農薬の削減による安全・安心な防除技術の開発、実証
- ③難防除病害虫、農薬耐性菌・抵抗性害虫対策の組み立て
- ④病害虫発生予察に基づく、予防的減農薬栽培技術の組み立て、実証
- ⑤マイナー作物への適用農薬の登録推進

果菜類チーム

- ①トマトの周年安定生産技術の研究
- ②夏秋ピーマンの省力安定生産の研究
- ③イチゴ新品種の育成
- ④イチゴ経営体の規模拡大を可能にする新生産方式の開発
- ⑤パプリカの品質・収量向上のための現地実証

葉根菜類・茶業チーム

- ①根深ネギ、ニラ、カンショ、キャベツ等の栽培技術に関する研究
- ②カンショの品種選定、ウイルスフリー苗の供給
- ③茶の栽培および病害虫に関する研究
- ④茶の品種選定

2. 試験研究課題

農業研究部（1 / 3）

農業研究部

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
I 大課題、 1中課題 ・研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1）、（1）、①				
I 構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発				
1 構造改革の更なる加速のための技術開発				
・ いちごの大規模経営体を育成・支援するための技術開発				
1) イチゴ大規模経営体を支援・育成する生産システムの確立	果菜類 チーム	地域農 業振興 課、産 業科学 技術セ ンター、 各振興 局	H28～31	県単、 一部国 庫
・ 環境制御技術によるいちごの収量向上				
・ 施設葉菜類のハウス内環境制御技術の確立				
1) 次世代型土壌水分センサーによる小ネギ栽培の「見える化」技術の構築	土壌・ 環境 チーム	北部振 興局	H30～32	県単
・ 革新的な省力栽培技術の開発				
1) 新技術を核とした施設葉菜類の安定生産技術の確立	葉根菜 類・茶 業チー ム	—	H28～30	県単
・ 市場動向に対応した輸出用かんしょ生産技術の確立				
1) 市場動向を見据えた露地野菜生産安定技術の確立				
(1) 輸出向け小イモ生産技術の確立	葉根菜 類・茶 業チー ム	—	H28～30	県単
・ トマトの低コスト養液栽培システムの開発				
・ 農産物の栄養分・機能性成分の数値化				
1) 夏秋野菜の栄養・機能性成分の数値化	土壌・ 環境 チーム	地域農 業振興 課、中 部振興 局、豊 肥振興 局、西 部振興 局、果 菜類 チーム	H29～31	県単
・ 高付加価値な内容成分を有する輸出用農産物技術の開発				
2 ブランド化のための技術開発				
・ いちごの県オリジナル品種の品種登録と普及				
・ いちごの県オリジナル品種の育成				
1) 県間連携によるイチゴ新品種の育成	果菜類 チーム	農研機 構、鳥 取県、 島根 県、岡 山県、 広島 県、山 口県、 長崎県	H28～30	県単
・ トマト新品種の選定				
・ 糖度判定技術の迅速化				
・ 農産物の機能性成分評価に関する研究				
・ 新需要に対応した品種選抜と加工技術の開発				
1) カンショの品種選定	葉根菜 類・茶 業チー ム	農研機 構	長期	県単

農業研究部(2/3)

3 マーケットインの商品(もの)づくりを加速のための技術開発				
・ 白ねぎの冬期増収に向けた栽培技術の開発				
・ 調製機械の効率化のための分析・改良提案				
・ 市場動向に対応した白ねぎの夏秋期安定出荷技術の確立				
1) 大苗利用による根深ネギの夏越し及び初夏どり作型の生産安定技術の確立	葉根菜類・茶業チーム	—	H30~32	県単
・ ドリンク用茶の安定収量確保のため二番茶の収穫適期判定技術の開発				
1) ドリンク茶栽培における収量・品質向上のための総合的管理技術の確立	葉根菜類・茶業チーム	—	H28~30	県単
・ 白ねぎの土壌病害の防除技術の確立				
・ 夏秋トマトのすすかび病及び線虫類の防除対策				
・ 農産物の安全安心に関する研究(薬剤抵抗性害虫の天敵利用技術)				
1) 夏秋ピーマンにおける天敵を主体とした害虫防除体系の構築	病虫害対策チーム	地域農業振興課、中部振興局、豊肥振興局	H30~32	県単
2) 平坦地に適した根深ネギべと病の防除技術の確立	病虫害対策チーム	北部振興局	H30~32	県単
3) 稲こうじ病、いもち病に対する新たな防除体系の構築	病虫害対策チーム	各振興局	H29~31	県単
4) ネオニコチノイド剤抵抗性ワタアブラムシ既発生地における発生実態の解明と生物的防除を核とした薬剤抵抗性管理技術の策定	病虫害対策チーム	日本書達(株)、農研機構、和歌山県、宮崎県、各振興局	H26~30	国庫
5) 次世代バンカー資材キットによるアブラムシ類基盤的防除技術の実証・普及	病虫害対策チーム	農研機構(株)アグリ総研、豊肥振興局	H28~30	国庫
6) ドローンを利用した病虫害の防除効果の解明	病虫害対策チーム	豊肥振興局	H30	県単
・ シソモザイク病及びさび症の防除体系の確立				
・ 茶の高品質省力栽培・加工技術の開発				
・ 新資材による低コスト施肥技術の開発				
1) 亜リン酸肥料を用いた夏秋ピーマン安定生産技術の確立	土壌・環境チーム	北部振興局	H28~30	県単
・ I P M管理技術を活用した防除体系の確立				
・ 有機農業の支援				
4 力強い担い手を育成するための技術開発				
・ 加工・業務用野菜栽培技術の確立				
1) 市場動向を見据えた露地野菜生産安定技術の確立				
(1) 業務用加工キャベツの周年供給体制の確立	葉根菜類・茶業チーム	北部振興局	H28~30	県単
・ 果菜類の安定生産技術の開発				
1) 「赤採りトマト」の周年供給体制の確立	果菜類チーム	中部振興局、豊肥振興局	H29~31	県単
2) 作業管理システム及び生育予測を核とした大規模施設園芸発展スキームの構築	果菜類チーム	西部振興局	H28~31	国庫
・ 夏秋ピーマンの省力・安定生産技術の開発				
1) 夏秋ピーマンの省力多収栽培技術の確立	果菜類チーム	—	H30~32	県単

農業研究部(3/3)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 低コスト耐候型施設の開発 ・ 養液栽培における生産安定技術の開発 ・ 大規模茶園における安定多収穫栽培と品質安定技術(効率的施肥)の開発 				
1) 茶試験圃場の育成	葉根菜類・茶業チーム	農研機構	長期	県単、一部国庫
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高品質・安定生産・省力化のための茶園管理技術の開発 				
5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境に優しく地域資源を活用した農業生産技術の開発 				
1) 製鋼スラグを利用した野菜類栽培における多面的効果の検証	土壌・環境チーム	病害虫対策チーム	H28~30	県単
II 研究を支える基礎調査と優良種苗管理				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業情報の提供(生育状況、気象データ) 				
1) 農業情報の提供(気象データ)	企画指導担当	水田農業グループ、果樹グループ、花きグループ	長期	県単
<ul style="list-style-type: none"> ・ 土壌情報の活用 				
1) 農地土壌炭素貯留等基礎調査事業	土壌・環境チーム	各振興局	H25~32	国庫
<ul style="list-style-type: none"> ・ 土壌肥料検査業務 				
1) 土壌肥料検査業務	土壌・環境チーム	—	長期	県単、一部委託
<ul style="list-style-type: none"> ・ 土壌環境調査の実施による企業参入支援並びにほ場整備等の支援 				
1) 土壌環境調査の実施による企業参入支援並びにほ場整備等の支援	土壌・環境チーム	—	長期	県単、一部委託
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病害虫発生予察情報(普通作・野菜・果樹・茶) 				
1) 病害虫発生予察事業	病害虫対策チーム	—	長期	県単、一部国庫
<ul style="list-style-type: none"> ・ ウィルスフリー苗の作出 				
1) イチゴのウィルスフリー苗の育成	果菜類チーム	—	長期	県単
2) カンショの茎頂培養によるウィルスフリー苗育成	葉根菜類・茶業チーム	—	長期	県単
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域固有の動植物の保存 				
1) 地域固有の動植物の保存	企画指導担当	各振興局	長期	県単
<ul style="list-style-type: none"> ・ 委託薬剤試験 				
1) 安全生産技術に関する研究	病害虫対策チーム	各振興局	長期	県単、一部委託
<ul style="list-style-type: none"> ・ マイナー作物農薬残留調査 				
1) 農薬残留特殊調査(マイナー作物への登録拡大)	病害虫対策チーム	大分県薬剤師、東部振興局、北部振興局	H28~30	県単、一部国庫

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
平成29年度農業研究部試験研究成績書	H31.03.	370	60

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載頁
森崎章好	麦焼酎蒸留廃液濃縮液の活用方法の検討	施設と園芸 (ミニ情報)	No. 182夏	57
池永亜希子	スイーツのようなストロベリー「ベリーの開発」 大分県イチゴ新品種「大分6号」	JATAFFジャーナル	No. 7(1)	

(3) 研究会、学会等での発表

3. 研究成果などの公表及び情報発信

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H30.9.12	第81回(平成30年度)九州農業研究発表会	森崎章好・玉井光秀・堀谷博一	麦焼酎蒸留廃液濃縮液(TS50)が植物体、土壌、地下浸透に与える影響
H30.9.12	第81回(平成30年度)九州農業研究発表会	山野秀真・椎原誠一	低温とかん水管理が冬春トマトの収果発生に及ぼす影響
H30.9.12	第81回(平成30年度)九州農業研究発表会	池永亜希子・山田晴夫	イチゴ「大分6号」の育苗時施肥法の違いが花芽分化に及ぼす影響
H30.9.12	第81回(平成30年度)九州農業研究発表会	佐藤如・池永亜希子・山田晴夫	イチゴ「大分6号」の果実特性について
H30.9.12	第81回(平成30年度)九州農業研究発表会	清松慎司	高軒高ハウスの夏秋栽培におけるパプリカの有望品種の検討
H30.9.12	第81回(平成30年度)九州農業研究発表会	山賀陽子・清松慎司・山田晴夫	夏秋ピーマンにおける有望品種の管理方法の検討
H30.11.7	九州病害虫研究会第96回研究発表会	鈴木智範・岡本潤・佐藤通浩	大分県におけるイネ稻こうじ病の発生状況
H30.11.20	平成30年度日本茶業学会	榊野智也	新品種「はると34」と「せいめい」の大分県における栽培・加工特性
H31.1.29	平成30年度九州沖縄農業試験研究推進会議 土壌肥料若手セミナー	森崎章好	大分県における小ネギ栽培の現状と課題解決に向けた取り組み
H31.1.29	平成30年度九州沖縄農業試験研究推進会議	森崎章好・藤谷渉・玉井光秀	小ネギ栽培における緩効性肥料を活用した窒素溶脱の軽減
H31.1.30	平成30年度九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	山野秀真	夏秋トマトの整枝法改善による出荷平準化の検討
H31.1.30	平成30年度九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	佐藤如	イチゴ「さがほのか」における中休みの推定
H31.1.30	平成30年度九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	佐藤如	イチゴ「大分6号」の育苗期施肥法の評価
H31.1.30	平成30年度九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	清松慎司	高軒高施設におけるパプリカの有望品種の選定
H31.1.30	平成30年度九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	山賀陽子	イチゴ「さがほのか」の育苗時鉢上げ時期と施肥がランナー発生に及ぼす影響
H31.1.30	平成30年度九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	小野紘平	イチゴ品種の特性
H31.1.30	平成30年度九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜成績検討会	大坪亮介	根深ネギの簡易型大苗育苗技術について
H31.1.31	九州病害虫研究会第97回研究発表会	鈴木智範・岡本潤・佐藤通浩	イネ稻こうじ病に関する省力的防除方法の検討
H31.3.19	平成31年度日本植物病理学会大会	松本翔太	フルトラニル剤耐性ネギ白絹病菌の発生

(4) 研究成果発表会

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
平成30年度第2回農林水産研究指導センター研究状況報告会	H30.12.18	県庁91会議室	1	63
農業研究部研究状況説明会	H31.1.10	農業研究部	4	2
平成30年度農業研究報告会	H31.2.22	豊後高田市	3	20

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
H30.5.14	県北キャベツ推進対策会議	JAおおいた北部事業部(宇佐)	20	
H30.5.30	トマト隔離ベツ栽培現地指導	三重総合高校久住分校	8	三重総合高等学校久住分校
H30.6.10	社会科学学習	西の台小学校	60	大分市立西の台小学校
H30.6.27	平成30年産第2回つや姫生産者研修会	JA安心院支店	30	北部振興局
H30.7.3	無人航空機所有者及び運営組織等連絡会議	産業科学技術センター	43	
H30.7.12	土壌断面調査研修会	北部振興局	10	水田畑地化PT
H30.7.17	平成29年産「ベリーツ」ブロック別実績検討会	JAおおいた東部事業部	40	地域農業振興課
H30.7.26	園芸作物生産適地判定技術研修会	水田農業G	45	園芸振興室
H30.7.27	グッピー現地検討会	豊後大野市	12	豊肥振興局
R1.8.9	水稲採種圃講習会	水田農業G	25	水田農業グループ
H30.8.21	味ーネグトレーニングファーム生研修	宇佐市	5	北部振興局
H30.8.22	平成29年産「ベリーツ」ブロック別実績検討会	北部振興局	7	地域農業振興課
H30.9.4	植物工場水耕レタス栽培現地指導	佐伯市	7	
R1.9.14	白ネギ講習会	豊後高田市	10	北部振興局
H30.10.18	茶園造成土壌調査研修	宇佐市	20	北部振興局
H30.10.23	企業参入現地指導 (トマト低段密植栽培)	国東市	7	
H30.10.25	「ベリーツ」現地研修会	杵築市	40	杵築イチゴ部会
H30.11.6	水田畑地化土壌調査研修	宇佐市	10	北部振興局
H30.11.15	革新的技術開発・緊急展開事業 (パブリカ)現地研修会	九重町	35	農研機構
H30.11.28	九州沖縄農業研究推進会議 野菜花き部会	豊後高田市	55	九州沖縄農業研究推進会議
H30.11.29	夏秋ピーマン研修会	玖珠町	25	JA玖珠九重町
H30.12.4	水田畑地化にかかる排水対策現地研修会	北部管内	40	園芸振興室
H30.12.6	水耕栽培のいろいろな話	佐伯市	30	佐伯市
H30.12.11	施肥防除研修会	教育会館	60	大分県肥料植物防疫協会
H30.12.21	「ベリーツ」現地検討会	白杵市	60	中部振興局
H30.12.27	イチゴ肥料現地検討会	由布市	6	中部振興局
H31.1.10	研究状況説明会	農業研究部	2	
H31.1.29	九州沖縄農業試験研究推進会議 生産環境推進部会 土壌肥料若手セミナー	くまもと県民交流館 パレア	28	農研機構
H31.2.8	大分工業高等専門学校・ 農林水産研究指導センター連携会	農業研究部	28	
H31.2.16	第36回アグレッッシュおおいた研修会	ホルトホール	42	アグレッッシュおおいた
H31.2.21	味ーネギ新規生産者研修土壌物理性座学	北部振興局	8	北部振興局
H31.3.20	大分なら広域共販技術者協議会役員会	大分市	10	大分なら広域共販技術者協議会

(2) 受入研修

① 長期研修者受け入れ

該当なし

② 生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数	
生産者	15	190	
団体等職員	1	50	
普及指導員	20	223	
学生	2	5	※大学
児童・生徒	0	0	※小中高校
海外からの視察者	0	0	
その他	13	70	
計	51	538	

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
西日本一の夏秋ピーマン産地の土台を支える技術の確立	IPMによる天敵防除技術のピーマン及びイチゴ産地への普及	<ul style="list-style-type: none"> ・生物農薬導入実演会を白杵市、豊後大野市で実施するとともに、病害虫調査を行った。 ・イチゴでミヤコバンカーの利用を加えた防除暦の改訂を行った。 ・ピーマンでスワルスキー製剤（バンカー型、ボトル型）を導入した防除暦を作成した。
ドリンク茶栽培における収量・品質向上のための総合的管理技術	ドリンク茶法人における品質適合率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・新芽調査、繊維分析による適期摘採、整枝による作期分散実証を実施した。 ・病害虫防除暦、新品種の検討を行った。
イチゴ大規模経営体を支援・育成する生産システムの確立	県育成品種「大分6号」の普及	<ul style="list-style-type: none"> ・広域親株の確保および配布、親株管理・育苗管理講習会を開催した。 ・定植前後や厳寒期に向けた樹勢管理について講習会を開催し技術普及を図った。 ・IPM実証ほを5カ所に設置し、ハダニの防除体系を実証した。 ・栽培マニュアルを改訂した。